

2025. Jul.

vo1. 5

 奈良県立医科大学附属病院  
Nara Medical University Hospital

地域連携・入退院支援センター 広報誌

**M** *Medical*  
**ER** *Engagement*  
*Relationship*

# 地域医療連携 だより



▲畝傍山キャンパス(新キャンパス)

## TOPICS

- ・病院長挨拶 … 2
- ・眼科教授 就任挨拶 … 4
- ・開学80周年記念及び新キャンパスオープン記念式典が開催されました … 5
- ・令和6年度年間実績 … 6
- ・第20回地域医療連携懇話会 開催報告 … 10
- ・地域連携・入退院支援センターからのお知らせ … 12

## 奈良県立医科大学開学80周年 を記念して

奈良県立医科大学附属病院  
院長 吉川 公彦



日頃は奈良県立医科大学附属病院の運営にご理解  
とご協力を賜り感謝申し上げます。

地域連携・入退院支援センターでは病病連携・病  
診連携の窓口として、「連携登録医のつどい」・「地  
域医療連携懇話会」等を通じて地域医療機関の先  
生方や医療関係者の方々と顔の見える関係作り  
に向けて取り組んでおります。

さて、令和7年は奈良県立医科大学が昭和20年  
に開校されて80年という節目の年にあたり、畝  
傍山新キャンパスがオープンしました。奈良県立  
医科大学附属病院は昭和20年に奈良共同病院を  
前身として215床でスタートしました。その後昭和  
56年に新本館(現在の外来棟)が完成、さらに平  
成9年にB棟、平成15年にC棟、平成25年にE棟  
が完成し、この間、病院職員のたゆまない努力と  
県内医療機関および患者さんのご理解・ご協力  
のおかげで今では1日外来患者数2500人、ベッド  
数992床を有する日本でもトップクラスの大規模  
病院となっています。

現在、奈良県立医科大学附属病院は主として以  
下の4つの重要な役割を果たしています。

- 1 高難度・先進医療の開発・実践と3次救急  
医療を行う「特定機能病院」
- 2 地域医療連携の要となる「基幹病院」
- 3 治療困難例を受け入れる最終デیفENSE  
ライン「最後の砦」
- 4 優れた医療人を育成する「医育機関」

一方、築44年を経過した外来棟は老朽化と狭隘  
化により診療に支障をきたし、また料金計算・薬  
剤受け取りのスペースが狭く、時間もかかるなど  
の患者さんにもご迷惑をおかけしています。そこ  
で、令和13年度の医大前新駅開設に合わせてC  
棟の南側に新外来棟を計画中であり、より良い環  
境の下で安心して高度な医療を受けていただくよ  
う鋭意準備中であります。

奈良医大では6年ごとに奈良県と協議の上、向  
こう6年間の中期計画・目標を策定し、毎年その進  
捗状況をチェックし、外部評価を受けています。今  
年は第4期中期計画初年度にあたり、県からの「持  
続可能な経営基盤の維持」「最高の医学と最善の  
医療を持って地域の安心と社会の発展に貢献す  
る」という目標提示に対して、「地域への安心と社  
会の発展への貢献」「安定した法人運営」の2つの  
柱建てのもと目標を定め、具体的な取り組みや指  
標を設定しているところです。

今後も奈良県立医科大学附属病院が100周年  
をめざして奈良県のみならず全人類の医学の進  
歩に貢献し、未来の医療を切り開く存在感のある  
病院として発展するよう、皆様方のご支援・ご協力  
を賜りますようお願い申し上げます。



# 当院の取り組み

地域の先生方と当院とで患者さんへ切れ目のない最善の医療の提供を行うため、紹介・逆紹介の推進を図るとともに、新たな連携構築を進め、機能分担に取り組んでまいります。

- 紹介・逆紹介の推進や、新たな連携構築を進め、機能分担を促進します！  
情報交換会等の実施、紹介・逆紹介の利便性向上、近隣病院との新たな連携の構築に努めます
- 退院後も地域で適切な医療を受けられるよう訪問看護ステーション等との連携を強化します！

## 理念

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

## 方針

### 1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。また高度救命救急センターに加え、ER救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

### 2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患)をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしてまいります。

### 3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

### 4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

## 行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。



## 教授就任挨拶

眼科

教授 加瀬 諭

奈良県の皆様、初めまして。加瀬 諭  
(かせ さとる)と申します。

このたび令和7年4月1日より奈良県立医科大学  
眼科学講座を担当させていただいております。

私は北海道札幌市出身で、鳥取大学医学部を卒業し、同大学の病理学の大学院を修了し、その後は北海道大学眼科で研鑽を積みました。専門は、研究面では眼病理学、臨床科目としては眼腫瘍と網膜硝子体です。

奈良県立医科大学に赴任して間も無い状況で、依然右も左もわかりませんので、拙い病院紹介になりますことをお詫びいたします。

奈良県立医科大学眼科学講座は昭和20年にその端を発する、非常に歴史のある教室です。奈良県立医科大学附属病院は橿原市の中心にあり、近鉄八木西口駅近郊で、橿原神宮へ繋がる国道、関西空港に連結する高速道路も周囲にあり、交通の要衝にございます。奈良交通によるバス停が医大玄関口にありまして、ここで下車しますと、目の前が病院玄関になります。

1階に眼科外来があり、通常は6診で診察しております。網膜硝子体や白内障、緑内障、斜視の患者さんを多く診察しております。角膜疾患やぶどう膜炎の患者さんも受診します。

木曜日には私の専門である網膜硝子体に加え、新

規に眼腫瘍外来を立ち上げまして、早急な眼表面の生検が必要な患者さんについては外来の処理室で生検を行っております。

手術日は基本、水曜日と金曜日で、朝から夕方まで多くの手術を行っております。全身麻酔による手術は予約患者さんが多数を占めていますが、緊急性の高い症例では臨時手術として対応します。涙腺腫瘍に対する眼窩内腫瘍摘出術も、この春に執刀することになりまして、悪性腫瘍の患者さんについては血液内科、脳神経外科、腫瘍内科等を併診して、集学的な管理を行っております。私の回診では火曜日と木曜日に入院している全患者さんを診察し、医局員に加えポリクリの学生にも病状を共有することを心がけております。日々の診療に加え、医局員の臨床研究に関する学会発表の準備も指導しております。

本学は四条町の本学に加えて、この春より畝傍山キャンパスも開講となりまして、教職員のみならず学生にも新しい一歩を踏み始めているところであります。

今後も奈良県の眼科医療の向上、若手クリニカルサイエンティストの育成、ひいては学術的に優れた結果を残せるように努めて参りますので、何卒ご指導賜りますようお願い申し上げます。



▲式典の様子

## 開学80周年記念及び 新キャンパスオープン記念事業について

開学80周年記念及び  
新キャンパスオープン記念事業実行委員会 委員長  
奈良県立医科大学 医学科長  
免疫学講座 教授

### 伊藤 利洋



奈良県立医科大学は、昭和20年(1945年)、終戦の年に開学し、本年2025年に創立80周年を迎える運びとなりました。奇しくも本年は新たに畝傍山キャンパスを開設する年でもあり、本学の歴史における重要な節目を迎えることとなります。

この記念すべき年にあたり、本学に関わってこれたすべての皆様—学生、教職員、卒業生、そして県民の皆様をはじめとする多くの方々に、これまで賜りましたご支援とご厚情に心より感謝申し上げます。同時に、皆様との更なる絆を深めることを目的として、2025年度を「80周年記念イヤー」と定め、去る5月24日に挙行いたしました記念式典を皮切りに、今後もさまざまな記念事業を展開してまいります。

この大きな節目に際し、本学が長年にわたり培ってきた精神と伝統を次世代へと確実に継承し、更なる発展を遂げるべく、「奈良県立医科大学2025宣言」を制定いたしました。

#### 奈良県立医科大学2025宣言

「新キャンパス開設を契機に、80年の伝統を讃え、地域社会との絆を一層深め、国際的な視野を融合し未来への道を切り拓くことで、世界に認められる最

高の医学と最善の医療を提供し、本学の存在感とブランド価値のさらなる向上を目指す。」

この理念のもと、5月24日に開催された記念式典では、「奈良から世界へ」をスローガンに掲げ、細井裕司理事長・学長による挨拶に続き、本学の80年の歩みを振り返る記念映像の上映や80周年を記念して新たに制定した学歌が披露されました。

また、記念講演「奈良から世界へ」では、本学と国際学術連携協定を締結している米国ミシガン大学医学部のBrian D. Athey教授、ならびに本学と奈良先端科学技術大学院大学が共同設立した一般社団法人奈良先端医工科学連携機構の代表理事であり、奈良先端科学技術大学院大学学長の塩崎一裕先生にご登壇いただき、盛況のうちに式典を締めくることができました。

本学は、これまで築き上げてきた精神と理念を大切にしながら、更なる飛躍とブランド価値の向上を目指し、引き続き開学80周年記念事業を推進してまいります。今後とも皆様方の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

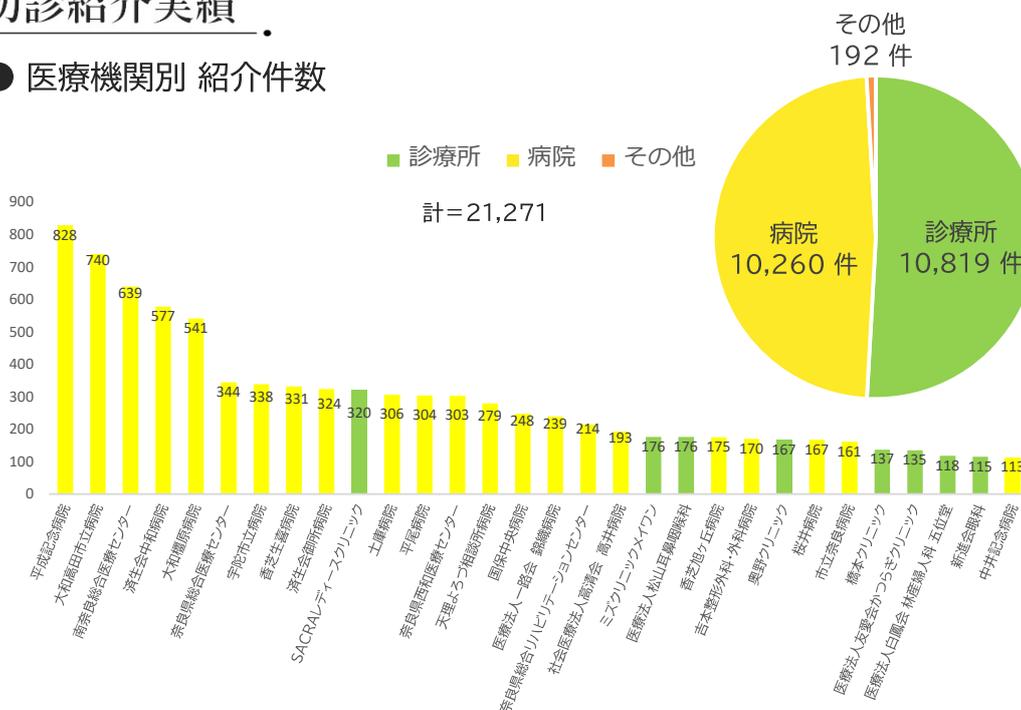
# 令和6年度 年間実績

## ● 主な項目の推移

	令和5年度	令和6年度	前年度比
初診紹介患者総数	21,642	21,271	98.2%
初診紹介予約数	15,273	15,803	103.4%
予約取得率	72.9%	74.4%	1.5ポイント増
逆紹介患者数	22,342	23,013	103%

## 初診紹介実績

### ● 医療機関別 紹介件数



### ● 医療機関別 紹介件数 (病院・診療所別 各上位10機関)

医療機関名(病院)		件数	医療機関名(診療所)		件数
1	平成記念病院	828	①	SACRALレディースクリニック	320
2	大和高田市立病院	740	②	ミズクリニックメイワン	176
3	南奈良総合医療センター	639	③	医療法人松山耳鼻咽喉科	176
4	済生会中和病院	577	④	奥野クリニック	167
5	大和橿原病院	541	⑤	橋本クリニック	137
6	奈良県総合医療センター	344	⑥	医療法人友愛会かつらぎクリニック	135
7	宇陀市立病院	338	⑦	医療法人白鳳会 林産婦人科 五位堂	118
8	香芝生喜病院	331	8	新進会眼科	115
9	済生会御所病院	324	⑨	飯岡形成外科ひふ科	111
10	土庫病院	306	⑩	板橋医院	98

○ …連携登録医

## 返書実績

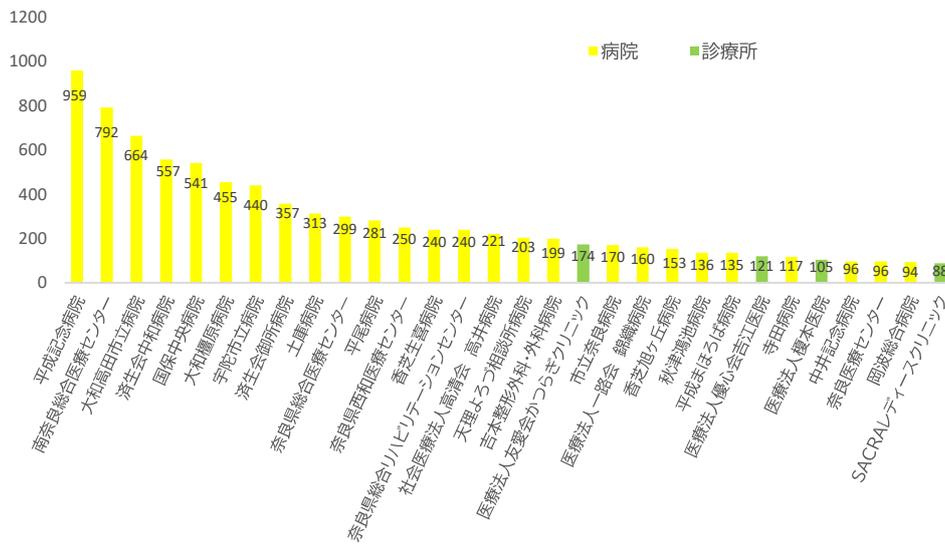
計=21,271

※当院への紹介患者さんのみ  
※1カ月=30日以内



## 逆紹介実績

### ● 医療機関別 逆紹介件数（上位30機関）



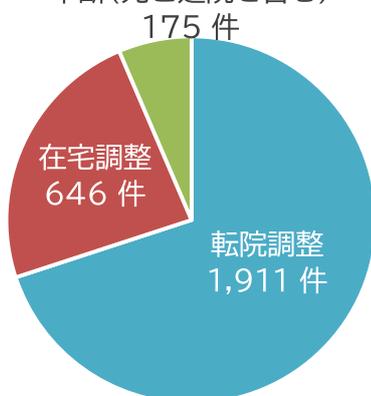
### ● 医療機関別 逆紹介件数（病院・診療所別 各上位10機関）

○…連携登録医

医療機関名(病院)			医療機関名(診療所)		
順位	医療機関名	件数	順位	医療機関名	件数
1	平成記念病院	959	①	医療法人友愛会かつらぎクリニック	174
2	南奈良総合医療センター	792	②	医療法人優心会吉江医院	121
3	大和高田市立病院	664	③	医療法人榎本医院	105
4	済生会中和病院	557	④	SACRALレディースクリニック	88
5	国保中央病院	541	⑤	医療法人康成会藤原京クリニック	86
6	大和橿原病院	455	⑥	友愛会 しらかしクリニック	85
7	宇陀市立病院	440	⑦	新進会眼科	82
8	済生会御所病院	357	⑧	ひがみりウマチ・糖尿病内科クリニック	77
9	土庫病院	313	⑨	医療法人 翠悠会診療所	76
10	奈良県総合医療センター	299	⑩	医療法人近藤クリニック 真美ヶ丘腎センター	75

## 転院調整実績

計=2,732件 中断(死亡退院を含む)

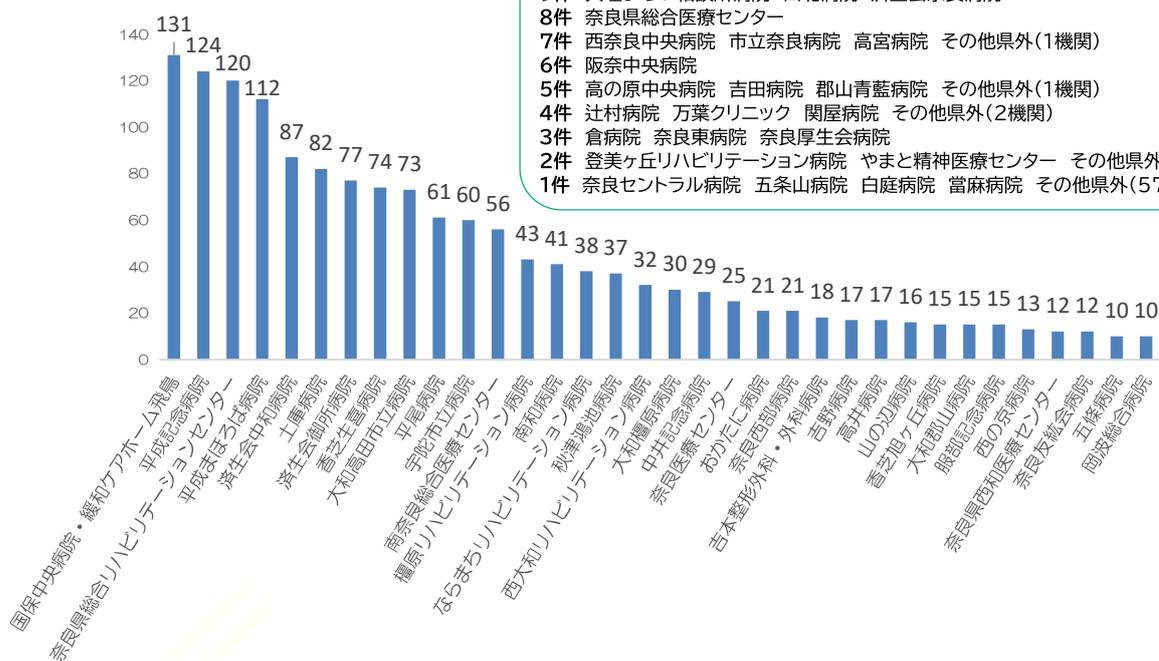


・転院調整: 転院調整(日程調整)  
奈良県脳卒中地域連携パス  
施設入所

・在宅調整: 在宅調整(通所リハを含む)  
透析施設紹介  
乳がんパス

## ●転院調整(脳卒中パス・施設入所含む) 連携先医療機関内訳

計=1,826件



## 返書率 100%に向けて取り組んでいます

当院では、初回受診後の返書を中心に取り組んでまいりましたが、今後は治療中の経過報告、逆紹介時の診療情報提供書等にも更に力を入れ、いち早く、紹介元への患者情報の提供・共有を徹底していきたいと考えています。

ご紹介いただいた患者さんについて、ご不明な点や確認したいことなど、情報が不足している場合はいつでも地域連携・入退院支援センターまでご連絡ください。





令和7年度も「連携登録医のつどい」を開催いたします！

第7回 連携登録医のつどい

R7年 **11月27日** (木)

対象：連携登録医のみなさま

「連携登録医のつどい」は、登録医のみなさまと当院医師とが緊密な医療連携を図ることで、患者さんがお住いの地域で安心して継続的に医療を受けていただけるよう、顔の見える関係を構築することを目的として開催しています。

内容等、詳細は決まり次第お知らせいたします。ぜひ多数のご参加をいただきますようお願い申し上げます。



▲昨年の様子

### 「連携登録医」の登録はお済みですか？

当院では2025年7月現在、連携登録医として430名の先生方にご登録いただいています。県内唯一の特定機能病院である当院と一緒に奈良県医療の地域連携体制の充実を図っていきたくと考えております。

「連携登録医」についての情報や登録は当院ホームページ<医療機関のみなさまへ>から、または直接、地域連携・入退院支援センターにお問い合わせください。

連携登録医詳細ページはこちら ▶





開催報告

## 第二十回 地域医療連携懇話会を開催しました。

「地域医療連携懇話会」は地域の医療関係者を対象に、医療の現状や諸課題の情報共有などを目的として開催しています。今回も引き続き対面およびWEB配信を併用したハイブリッド開催といたしました。

講演Ⅰでは、奈良医大附属病院 総合診療科 教授の吉本 清巳先生から、今後より必要になる在宅医療に関する本学の課題などをお話いただきました。

講演Ⅱでは、奈良医大 公衆衛生学講座 教授の今村 知明先生より、人口構成の変化の視点から今後の医療界の動きについてお話をいただきました。

当日は医師をはじめ医療関係者の方総勢111名の方にご参加いただきました。アンケートでは「もっと在宅医療・医療業界に貢献していきたいと改めて感じます。今後は医療の業界全体のことも気にかけて見ていきたいと思いました。」「地域のドクターと大学のドクターとのディスカッションがもっと活発にできればと思いました。」等たくさんのご意見・ご感想をいただきました。

お忙しいなか、ご参加ならびにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果については当院のホームページに掲載しております。

＞ 日 時 2025年2月27日(木)  
14:00～15:30

＞ 会 場 奈良県立医科大学  
厳櫃会館3F 大ホール

### ▼ プログラム ▼

座長 奈良医大附属病院 消化器・代謝内科 教授  
地域連携・入退院支援センター長 吉治 仁志

講演Ⅰ 「大学病院が関わる在宅医療の教育と  
在宅医療支援センターによる支援について」  
奈良医大附属病院 総合診療科  
教授 吉本 清巳

講演Ⅱ 「地域医療構想や医師偏在、かかりつけ医、  
働き方改革などの医療を取り巻く施策の現状  
と今後の方向性」  
奈良医大 公衆衛生学講座  
教授 今村 知明



奈良医大附属病院 総合診療科  
教授 吉本 清巳



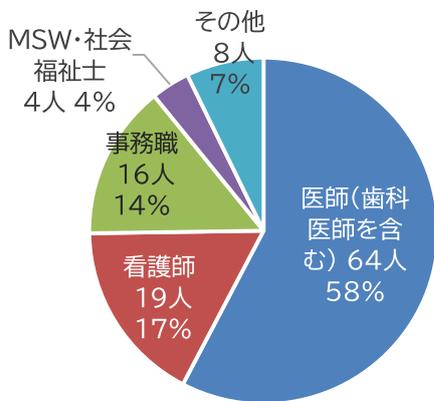
奈良医大 公衆衛生学講座  
教授 今村 知明



奈良医大附属病院  
消化器・代謝内科 教授  
地域連携・入退院支援センター  
センター長 吉治 仁志

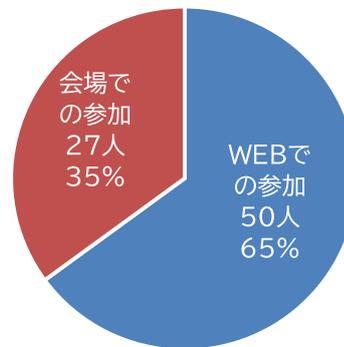
### 参加者 職種内訳

(参加人数=111)



### 参加方法

(アンケート回答人数=77)



「第20回 地域医療連携懇話会」  
参加者アンケート集計結果は、  
こちらからもご覧いただけます

今回も多数のご参加を賜り、ありがとうございました。

地域医療連携懇話会は今年度も開催を予定しております！ぜひ多数のご参加をいただきますようお願い申し上げます。

## 第21回 地域医療連携懇話会

R8年 **2月19日(木)**

対象：医療関係者

(職種にかかわらず参加いただけます)

内容等、詳細は決まり次第お知らせいたします。

患者さんをご紹介の際は事前予約をお願いします。

FAX予約



専用FAX：0744-23-9901

受付：月～金 8:30～16:00（祝日・12/29～1/3除く。）  
※ FAXは24時間受信可能ですが、時間外のお申込みは、翌日（休日の場合は休日明け）の受付となりますので、ご了承ください。

オンライン予約



「C@RNA Connect」

※ 事前登録が必要です。  
24時間、365日予約可能

患者直接電話  
予約



専用ダイヤルあり

※ 連携登録医からの紹介患者さん限定

2025年7月現在、地域連携・入退院支援センターではセンター長（医師）のもと、副センター長として看護師1名、事務1名の計2名、看護師15名、社会福祉士11名、事務6名、医療事務11名が在籍しています。

患者さんの受診から退院までをシームレスに対応できるよう、今後とも顔の見える連携強化に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域連携・入退院支援センターより



編集・発行 奈良県立医科大学附属病院 地域連携・入退院支援センター

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

TEL（代表）0744-22-3051/（直通）0744-29-8022

FAX 0744-23-9923 URL <https://hospital.naramed-u.ac.jp/>

発行 2025年7月

